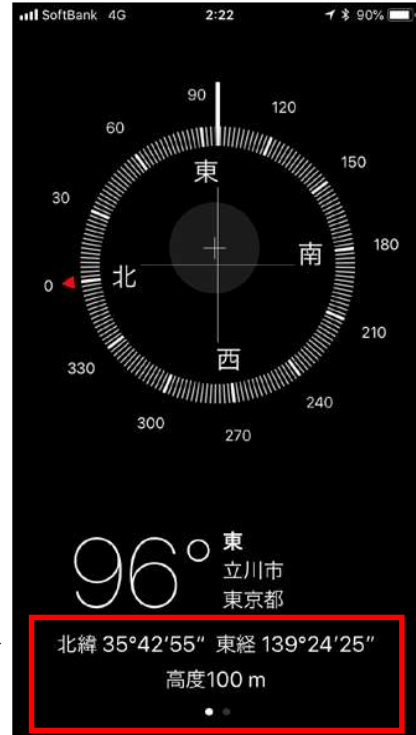


スマホでの緯度・経度の調べ方

1 iPhone携帯による表示方法

iPhoneに標準で入っている「**コンパス**」アプリを起動させるだけで緯度・経度が表示されます。



緯度・経度の表示→

※GPSの設定方法

設定→プライバシー → 位置情報サービス → 位置情報サービスを**オン**

2 Android携帯による表示方法

Androidのスマホにはコンパスがプリインストールされていませんので、GoogleのPlayストアで「コンパス」をダウンロードします。

Playストアには幾つかのコンパスアプリがありますが、私は無料のmelon softの「KTW Apps」を使っています。

但し、このアプリは無料のため広告が表示されます。


※GPSの設定方法

設定 → 位置情報 → 位置情報の使用を**オン**

(注) コンパスは、YAMAPと併用すれば便利ですよ。



次にコンパスの操作方法を解説します。

 をタップすると右図のように緯度経度が表示されます。



緯度・経度の表示→



3 Googleマップでの検索方法 (iPhone 携帯、Android 携帯共通)

[手順1] Googleマップを開く。

[手順2] 現在地部分を指で長押しする。



[手順3] 長押しした所の**マークが赤く表示**される。

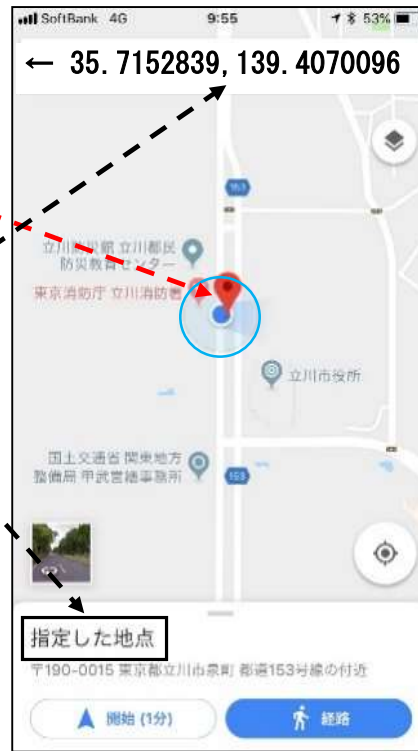


[手順4] 緯度・経度が上部窓に表示される。
(19桁の数字)

35. 7152839, 139. 4070096
(緯度) (経度)

また、画面下部の「**指定した地点**」をタップしても19桁の緯度経度が表示されます。

(注) 経度がスマホによっては「139. 4070...」と「...」が表示される場合があります。その時は、スマホを横向きにして正しく表示させます。



「35. 7152839, 139. 4070096」は
・ 緯度が北緯 35. 7152839 度
・ 経度が東経 139. 4070096 度
と言う意味です。

度分秒に変換

[緯度を変換]
・ 度 ; 35 度
整数部が度 → **35. 7152839**
・ 分 ; 42 分
度の小数部に 60 を掛ける
 $0. 7152839 \times 60 = \underline{42. 917034}$
・ 秒 ; 55. 022 秒
分の小数部に 60 を掛ける
 $0. 917034 \times 60 = \underline{55. 0220417}$
∴ **35 度 42 分 55. 022 秒**
となります。
※ 経度の変換方法も同様です。

「分」へ変換

$$42 \text{ 分} + (55. 022 \text{ 秒} \div 60) = \underline{42. 917034 \text{ 分}}$$

「度」へ変換

$$35 \text{ 度} + (\underline{42. 917034 \text{ 分}} \div 60) = \underline{35. 7152839 \text{ 度}}$$

度に変換

そもそもなぜ必要！？ 緯度・経度の確認！

山岳地域では明確な目標物はあまり多くありません。そんななか消防へ救助や火災の通報をする際、スマホ（携帯電話）のGPS機能で緯度・経度の情報を伝えると、ピンポイントで位置が特定でき、消防がより早く確実に災害現場（通報者・傷病者）にたどり着ける可能性が高まります。

万が一に備えて、ご自分のスマホから事前にGPS情報を取得できるように準備、確認しておくことが大切です。

YAMAP等、さまざまな地図アプリ等でも緯度経度の情報の確認ができます。但し、YAMAPはスマホに予めダウンロードした地図の範囲内でのみ確認できませんので、ちょっと難点があります。

ご自分でインストールしたものがあれば、ぜひ確認してみてください！